

日本に貢献するだけでなく 世界に貢献する企業へ

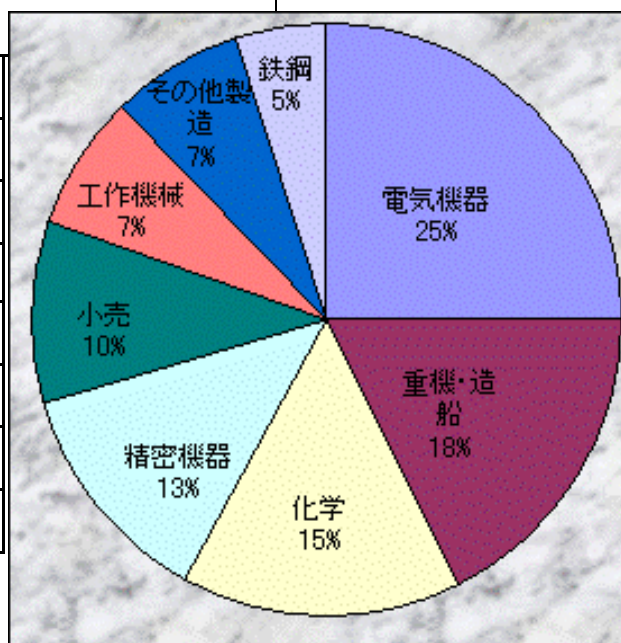
企業が世界を支える

チーム名	KJF (Kobari Junior Fund)
学校名	伊奈町立小針中学校
メンバー	福元 真 一年 石井 孝弥 一年 五十嵐 大輔 一年
担当教諭	三杉 典史 担任
チームID	SL500377

投資企業一覽

銘柄	小分類	業種	取得価額
住友重機械工業 (東証 1 部)	重機・造船	機械	494,716
松下電器産業 (東証 1 部)	電気機器	電機	494,513
セブン・イレブン・ジャパン (東証 1 部)	コンビニ	小売	492,980
川崎重工業 (東証 1 部)	重機・造船	輸送用機器	371,070
日立製作所 (東証 1 部)	電気機器	電機	370,852
シャープ (東証 1 部)	電気機器	電機	370,272
ニコン (東証 1 部)	精密機器	精密機器	370,008
ファナック (東証 1 部)	工作機械	電機	366,510
任天堂 (東証 1 部)	ゲーム	その他製造	361,050
旭化成 (東証 1 部)	化学	化学	247,396
新日本製鐵 (東証 1 部)	鉄鋼	鉄鋼	247,396
島津製作所 (東証 1 部)	精密機器	精密機器	247,384
日立化成工業 (東証 1 部)	化学	化学	247,281
住友化学 (東証 1 部)	化学	化学	247,266

業種別投資額	
電気機器	1,235,637
重機・造船	865,786
化学	741,943
精密機器	617,392
小売	492,980
工作機械	366,510
その他製造	361,050
鉄鋼	247,396



プロリーグ プロリーグ

投機ではなく投資をする

これまで僕たちは、株とは投資家が企業を利用して儲けるためのもので、ギャンブルのようなものだと考えていました。しかし、STOCK リーグで株式について勉強するにつれ、株とは売る企業も買う投資家もどちらも利益を得るものだとわかりました。投資家は株を買うことで配当などを手に入れ、企業は株を売ることによって必要な資金を入手できます。証券会社もいければ、まさに「三方両得」の大変良いものなのです。それに、良い会社にはたくさん資金が集まるので、社会的にも好ましいものです。

僕たちは、せつかく投資するのなら社会に特に貢献している企業に投資しようと考えました。（つまり**投機ではなく投資**をすることにしました。）しかし、「社会に特に貢献している企業」と言っても判別が難しく、数も多いことが予想されました。そこで僕たちは対象を絞り、「**世界に貢献している企業**」に投資することにしました。僕たちは**日本一国より世界各国に貢献する企業のほうがはるかに重要である**と考えたのです。それに、**日本国内にしか事業展開していない企業よりも海外に積極的に展開している企業のほうが有利である**と考えました。なぜなら、

- 1 . **日本市場は成熟してしまって大きな成長が見込めない。**
- 2 . **（中国などで生産すると）人件費が安く、部品も安いので国内で生産するより有利。**
- 3 . **（アメリカやヨーロッパは）市場が大きいうえ高価な商品も十分な売上が見込める。**
- 4 . **（NIES や BRICs は）高成長が見込める。**

以上の理由から、ポートフォリオのテーマを「日本に貢献するだけでなく世界に貢献する企業へ」にしました。

日本、いや世界は今、企業なしには成り立ちません。各国政府はできるだけ仕事を民間に任せる「コンパクトな政府」を目指しています。それに、企業が世界の雇用を支えているとあっていいと思います。企業は様々な所で社会に貢献しており、その企業が発展することにより、経済が発達するのです。いまや企業が僕たちの生活を支えているのです。そのため僕たちは、企業が世界を支えていると言っても過言ではないと思い、これをサブテーマにしました。(福元・五十嵐)

選考・第一段階 業界

僕たちはプロローグで述べた通り、世界に(特に)貢献している企業に投資することに決めました。しかし、日本の海外進出企業数百社(数千社かもしれない)の中から「世界に貢献している企業」を見つけ出すのは相当困難なものと思われました。そこで僕たちは、まず投資企業を東証一部の上場企業に絞りました。そして業界別に「海外進出」「先行き見通し」の二つを判定し、投資するかどうか決定しました。

僕たちはまず海外進出があまり盛んではない次の業界を投資対象からはずしました。

映画	外食	建設
旅行	通信	不動産
レジャー	電力	銀行
出版	ガス	保険
広告	石油	証券
専門店	陸運	消費者金融
アパレル	鉄道	人材派遣

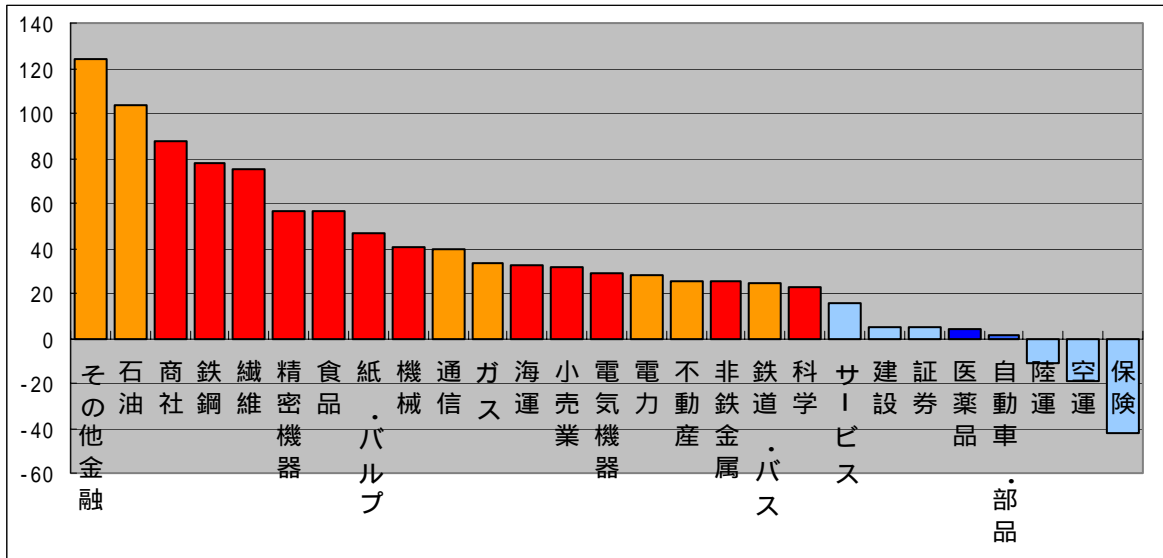
次に僕たちは独自に業界ごとの先行き見通しを予想し、それを日経（けっこう前のものですが）に載っていた下半期の各業界の業績予想から割り出した伸び率と比べました。

自動車関連業界

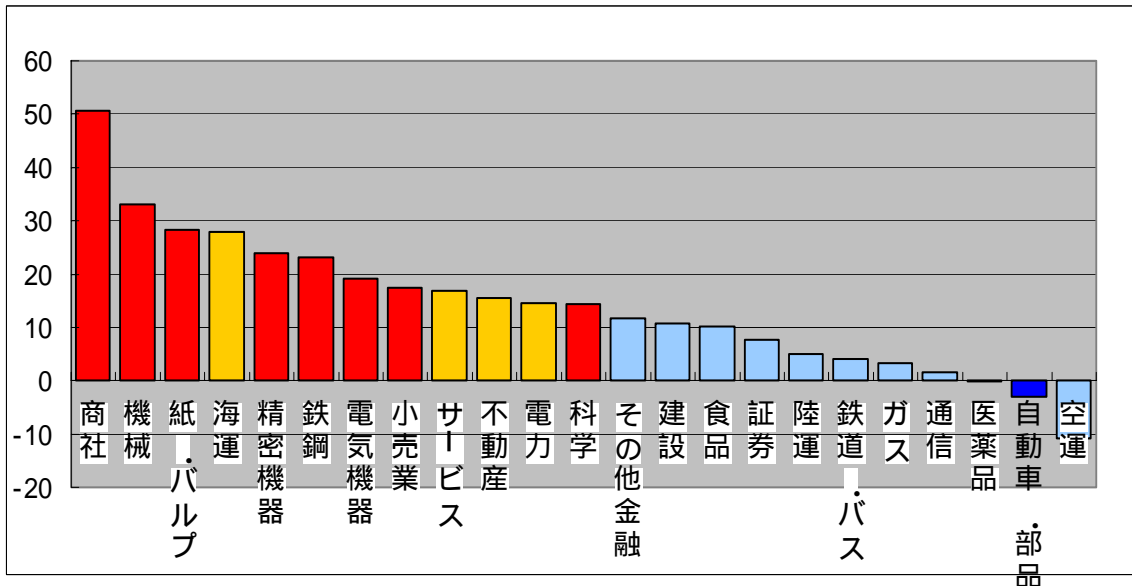
僕たちは「石油高は当分続き、OPEC 諸国などは増産に踏み切らない」という予想を立てました。なぜならサウジアラビアなど一部の大産油国とアルジェリアなど多数の規模の小さい産油国の埋蔵量の差が大きすぎるからです。当然アルジェリアやベネズエラなどは大産油国の市場独占を警戒して増産に反対します。従って自動車の販売は落ち込み、自動車の好業績は見込めないと予想しました。トヨタが過去最高益を更新したり、フォードを抜いたりといったニュースがありましたが、僕たちはトヨタの躍進もそろそろ一服するだろうと見込みました。（トヨタは中国市場で出遅れています。（*1））個人的にはルーマニアのダチア社の効果（*2）でルノーの株が上がると思って一生懸命探しましたが、ありませんでした（*3）……………。

一方、業績予想のほうですがあまり良くないようです。

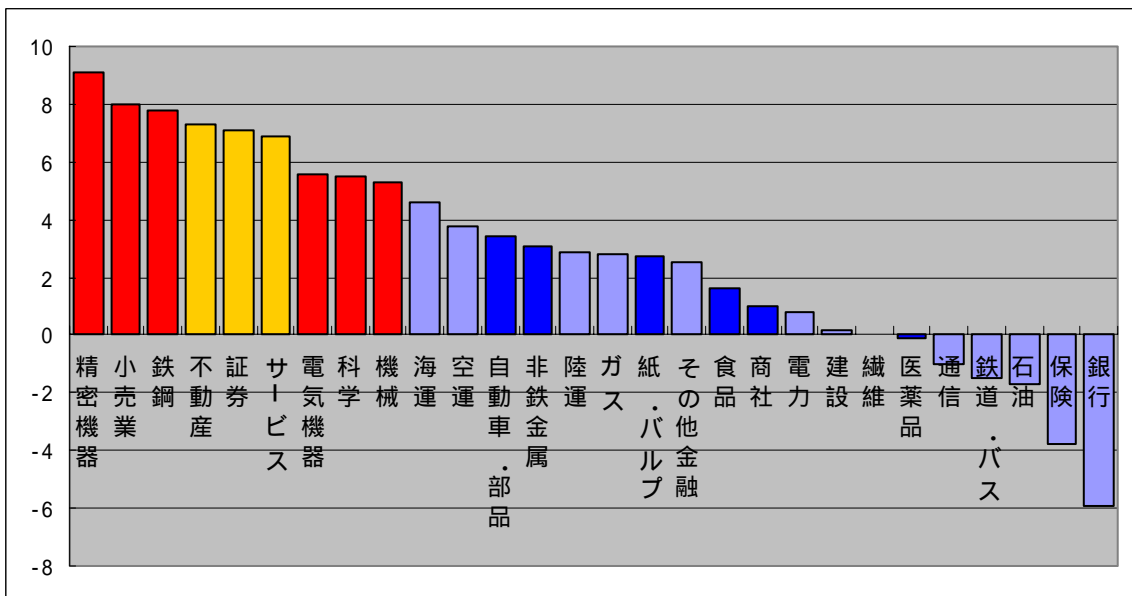
最終損益 伸び率



経常利益 伸び率



売上高 伸び率



上の三つのグラフを見ればわかりますが、どの指標の伸びもあまりよくありません。特に経常利益は3%の下落。良くありません。

よって僕たちは自動車業界および自動車部品業界の企業には投資しないことにしました。

(*1) トヨタ系の一気天津のシェアは5.8% (トヨタ車がすべてではない)、東風日産のシェアは3.1%。それに対して独フォルクスワーゲンのシェアは35.2% (*4) と差が大きい。

(*2) ルノーの子会社であるルーマニアのダチア社は低価格の世界戦略車「ロガン」を発売した。

(*3) その頃は外国企業の株が買えないなんて思っていなかったのです。

電気機器業界

AV (音響 { audio } ・映像 { visual })

AV業界の最近の主な製品は液晶テレビ、プラズマテレビ、DVDレコーダーなどですが、これらはまだまだ売れると思います。将来世界でもDVDがVTRを抜くと言われていきますから、ビデオより普及すると見ていいでしょう。それに世界のDVDレコーダー売上の約80%、液晶テレビの約75%を日本企業が占めています。欧米勢は出遅れており、DVDレコーダー大手五社のうち欧米企業はオランダのフィリップス (*1) (2位) だけです。CD、MDなどや通常のテレビも中国市場などでこれからも売れていくでしょう。前途有望な業界です。

白物家電

白物家電の国内需要は伸び悩むでしょうが、中国市場が期待できます。日本は中国と近い上、日本企業は中国に早くから進出しているため、米GEやスウェーデン・エレクトロラックス、蘭フィリップスなどの欧米勢より優位です。後は中国・韓国勢との争いになるのですが、ブランド価値の高い日本製品は所得の向上につれ優位になってくると僕たちは考えました。

工作機械

工作機械・産業用ロボットもこれからが期待できます。要因は、やはり中国。世界の工場となりつつある中国からの発注で、この業界は潤うでしょう。日本国内でも生産者人口の減少からロボットの導入が増えると思います。ファナックと米GE、安川電機と独シーメンスのように、国際的な提携も活発になってきました。影は薄いものの、目の離せない業界です。

ゲーム

任天堂とソニーが新型携帯ゲーム機を発売するそうで、その効果が期待できます。ただ、「クリスマス商戦が終わると株価は落ちるのでは」という不安がありました。でも、「任天堂は売れる」という石井君の予想を逃してしまっただけなので、とりあえず合格としました。

パソコン

日本のパソコン業界は廉価な米デル等にシェアを奪われており、これと言って期待できる新製品もありません。したがってパソコンに重点を置いている企業は不合格としました。ただしパソコンも製造している家電メーカーは、OKにしました。

電子部品

電子部品はこれといって株価を上げる要因がないので、不合格です。でも電子部品も製造している家電メーカーは、OKにしました。

社会貢献についてですが、まあ、これと言って目立ったことはありません。しかし、各社が作っているどの製品も、いまや必要になってきています。

ずいぶん遅くなりましたが、業績予想です。自動車関連業界の所にあるグラフを見てもらえば分かりますが、純利益・経常利益・売上高といずれも合格ラインの高水準です。僕たちはこの業界（パソコン・電子部品を除く）ならいいだろうと判断しました。

* 1) フィリップスは僕（福元）が就職したい企業なので、すこし目立たせたかったです。照明は世界シェア一位、DVDレコーダーは二位、AV・デジタル家電と医療機器はヨーロッパトップで、半導体、家電でも大手です。

精密機器業界

精密機器業界の最近の主な製品といえば、デジタルカメラです。世界市場のほとんどを日本企業が独占している上、これからの伸びも期待できます。OA機器なども好調なようで、魅力のある業界です。

続いて世界への社会貢献の評価です。OA機器は事務の効率を良くするため、世界経済の発展に一役買っている（？）と言うこともできます。また、時計がなければ誰もが困りますし、医療用機器などは社会に不可欠なものです。計測機器もいろいろな所で活躍しています。もちろん海外にも派手に進出していますから意外と社会に貢献している業界です。

業績予想ですが、どの数値もなかなかです。よって僕たちは合格としました。

重機・造船業界

僕たちは重機・造船業界は中国の経済発展の恩恵を特に受ける業界だと思いました。中国は発展につれ建機・原動機・量産機械・鉄道車両・船舶などの需要が増えますが、国内に有力な重機メーカーがありませんから、列強（日、韓、仏、独、米）の売り上げは大きく伸びるでしょう。ヨーロッパなどでも環境装置などの需要増が見込まれます。こちらも有望な業界です。

世界への社会貢献の評価です。量産機械は世界の工業にとってとても重要な役割を果たしています。鉄道車両と航空機は世界の交通を支えており、船舶は貿易に不可欠です。環境装置はもちろん社会に貢献しています。プラントがなければ世界のエネルギーは大変なことになります。この業界は一番国際社会に貢献しているのではと思いました。

業績予想ですが、機械の棒を見てもらえると一目瞭然です。どの値の伸び率も合格ラインです。よって僕たちはこの業界も合格としました。

化学業界

化学業界は外国企業との提携がとても活発な業界で、例えば住友化学はエチレンで英蘭ロイヤルダッチシェル、ウレタンで独バイエル、農薬で中国のメーカーと提携しており、米ダウケミカルと合併会社を設立しています。その他のメーカーも仏アベンティスや米デュポンなどと提携しています。この業界は日本でも特に国際的な業界のひとつです。

国際社会への貢献というのはあまり目立ちませんが、業績予想も好ましかったので合格にしました。

医薬品業界

日本の医薬品メーカーは欧米大手に比べて弱体です。それにこの業界は好景気になってもあまり需要が伸びません。

社会には大いに貢献していますが、業績予想も全く思わしくないなので不合格です。

繊維業界

繊維は製造が容易なので、製造コストの低い中国などの企業にシェアを奪われることが予想されます。

繊維は必要不可欠なものですが、国際社会への貢献というのはパッとしません。

業績は改善するようですが、売上高は伸び悩む模様です。売り上げが伸びずに利益だけ増える状態は長くは続かないと僕たちは思いました。

紙・パルプ業界

繊維業界とまったく同じ理由で不合格です。

鉄鋼・金属業界

鉄鋼・金属業界も中国などの需要増が見込まれます
鉄鋼・金属を使った製品は数え切れないほどありますから、
金属は世界経済・社会にとってとても大事なものです。
業績予想も好ましかったので、合格にしました。

食品業界

食品業界はこれといって株価を押し上げる要因がないうえ、
好景気でも需要はあまり増えないと思われれます。

食品は、経済はともかく社会には絶対に必要なもので、貢
献がどうこう言う以前の問題ですが・・・・・・・・

業績予想も経常利益と売上高の伸びが低く、不合格になり
ました。

商社業界

商社復権といわれている今、商社は盛んに海外の事業に
投資しています。しかし商社の多くは多額の有利子負債を抱
えており、安心して投資できるわけではありません。

世界と日本の橋渡しをする商社は、世界経済に大いに貢献
しています。産出国、消費国（日本）、商社の三つがすべて
得をする（稀にしない場合もありますが）好ましい会社です。

業績のほうも利益はトップクラスの伸びですが、売上高は
パッとしません。大変惜しいのですが、不合格にしました。

小売業界

デパート

デパートは最近不調で、クリスマス・正月商戦の後株価は落ちるだろうと予想しました。

スーパー

スーパーはこれといって好調な企業がなく、魅力に欠けていると思いました。

コンビニ

コンビニは海外に盛んに進出しており、売り上げも伸びています。「コンビニなら投資しても差し支えないだろう」ということになりました。（投資業種の偏りが激しかったので、コンビニは後から合格させたのです。）

小売業は経済の中心を担っている重要な業界で、これなしに経済は成り立ちません。業績予想は文句なしの値です。

以上のように僕たちは、電気機器（電子部品・パソコンを除く）、精密機器、重機・造船、化学、鉄鋼・金属、小売業（コンビニのみ）の6業界に投資することになりました。

（業界ごとの予想_福元 社会貢献度_福元・五十嵐
業績予想_石井）

選考・第二段階 企業

電気機器業界

松下電器産業

松下電器産業は中国で最も成功している日本企業のひとつです。北京、上海、大連、広州、杭州、アモイなどの都市で蛍光灯、ビデオ、DVD、電子レンジ、洗濯機、炊飯器、冷蔵庫、エアコン、ラジオ、テレビ、ラジカセなど主要な製品を一揃い生産しています。そして、中国海岸部の富裕層を中心にシェアを拡大し、中国有数の家電ブランドになっています。その他に TCL と提携しています。

松下は前途有望な製品である DVD レコーダーの世界シェアの四割強を占めており（当然トップ）、AV 部門は期待できます。ビデオカメラや MD 録音再生機も子会社ビクターを含めて 39.8%、30.8% と 1 位、2 位です。松下は（ビクターも含めて）AV 事業が 6 割強を占めていますから、AV の伸びが全体を牽引してくれるでしょう。

白物家電も侮ってはいけません。冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、食器洗い乾燥機、掃除機のいずれも国内シェアトップ。これに中国が加われば相当な売り上げが期待できます。

また、松下は豊富な資金を持っており、金利が上がればその恩恵を受けられます。

さらに「Panasonic」のブランドは諸外国でもかなり浸透しています。

国際社会への貢献についてですが、松下は日本企業の中でも特に環境に配慮している企業の一つです。雇用にも貢献していますし、技術の発展にも関わっています。ほかに特筆すべき点はありませんが、充分でしょう。

最後になりましたが、デジタル景気もあって松下の業績予想は好ましいものです。売上高・経常利益・純利益のどの値もなかなか好調です。

以上の理由で松下への出資を決定しました。投資した額は500,000円です。

松下電器産業への一言 といっても大企業に一言言える立場ではないのですが、日本で売っているような最新の製品を中国でも売ったらどうでしょう？ 中国といっても上海のほか北京、天津（ここは結構穴場だと思うのです。所得は高いけど、外国勢はあまり進出していませんしね。）など一人当たりのGDPが3000ドル以上の都市や、広州・杭州・大連周辺なんかどうですか？ VWだってアウディA6のストレッチリムジンを売っているんです。GMはビュックを投入しているし、ホンダが成功した車種はアコードだったんです。だから、多少高価な製品だって売れてしまうと思います。韓国だって所得は日本の三分の一なのに、液晶テレビなどはけっこう売れていますよね。韓国よりも生活費が安く済む中国では、購買力は所得の低さに比例しないのではないのかと思います。それに所得はずいぶん上がってきています。一部の都市などアルゼンチン・ブラジル・ポーランドといった国を上回っています。もしすでに実践していたら、すみません。

もうひとつあります。それは前途有望な中国企業を買収してしまうことです。松下は中国企業と価格競争しても体力を浪費するだけです。相手は不特定多数ですし、価格差別をしてダンピング税を課されたらおしまいです。自らは中国企業に比べて高付加価値の製品に重点を置き、廉価な製品は中国の子会社に作らせればいいのです。そしたら松下は採算の悪化を免れ、子会社は松下の技術を生かして他社より優位に立つことができます。これは甘い考えですが、ハイアールが大企業になると予想した人がどれくらいいたのでしょうか。中国企業は松下の脅威になりかねません。フランスのことわざに

「50隻の海賊が来たら、80隻の海賊で対抗せよ」というものがありました（間違っているかもしれませんが）、中国企業には中国企業で対抗するのが一番です。現時点で中国企業を買収することは困難ですが、中国企業が英ローバーや米IBMのパソコン事業（どちらも採算が悪化していたので、手放したかったそうですが）を買収する時代に、自国企業を買収は反対というわけにはいかないでしょう。何かの参考になったら幸いです。（福元）

日立製作所

日立はこのところ業績が回復してきていますが、これはデジタル景気によるAV・デジタル家電の伸びが大きいのでしょう。また、主力の情報通信システムも好調なようで、ある程度の伸びが期待できます。

日立製作所は日本最大の電機メーカーです。しかし家電・AVなど他の電気機器会社の主力製品に絞ればソニー・松下などに劣ります。で、その分何をやっているかというと、まず電力産業システムがあげられます。これは日本と世界の経済および社会において重要です。他には高級機能材料が代表的です。これは世界の技術革新に一役買っているということが出来るでしょう。

前述したように業績は回復してきています。大企業にしては成長幅が大きいです。

したがって僕たちは日立への投資を決定しました。ただし松下に比べて魅力が少ないので、投資額は375000円に抑えました。

日立製作所への一言 日立は中国で出遅れていると思います。松下をはじめソニー、東芝、三洋電機、シャープ、パイ

オニアなどは盛んに進出していますが、日立の話はあまり聞きません。日本からの輸出では到底他社には及びませんから、早いうちに中国に工場や研究所を建てたりすべきだと思います。中国は 2010 年の上海万博までは今のペースの成長率が続くと見られていますから、「next made in Japan」もわかりますが中国は重要です。 (福元)

シャープ

シャープは液晶テレビで世界シェアの約 50% を占めています。これは特筆すべきことです。かなり前途が有望な製品の半分程度を出荷している企業ですから、投資しないなんてもったいないことです。ただしシャープは売り上げに占める電子部品の割合が 4 割弱と多く、液晶テレビが伸びてもその分業績が上がるとは限りません。

シャープは太陽光発電に力を入れています。これがシャープの主力事業ではありませんが、シャープは積極的にこの市場の開拓を行っています。シャープがコマーシャルで流しているように「日本中の屋根を太陽光発電に」すれば、環境保護にかなり貢献していることになります。ノーベル賞に環境部門があれば受賞間違いなし！

遅くなりましたが業績予想です。シャープは売上高・経常利益・純利益のどの値も好調です。

よって、僕たちはシャープへの投資を決定しました。投資額は 375000 円です。

シャープへの一言 シャープは収益の半分を国内に依存しています。少子高齢化による人口減少で日本市場自体の縮小が予想される中、半分を国内に依存するのはあまり好ましくないと思います。まあ、今後しばらくは今の状況を維持で

きるでしょうが、高齢化によって都市部の大型小売店まで買いに行く人は減ると思います。松下電機産業のように都市圏などに多数小型小売店をもっているならともかく、そういったところに弱いシャープは（特に白物で）これから苦戦してしまうのではないかと思います。もっとも、ヤマダ電機やコジマのような郊外の大型店舗は盛況です。しかしそういった店は「売れない」と見たらすぐに取引を止めます。やはり、海外の比率を高めた方がいいと思います。

（福元・石井）

ゲーム

任天堂

任天堂は今度 DS という名の携帯型ゲーム機を発売します。総合電機メーカーなどと違って、ゲームのハードウェアのメーカーである任天堂は生産する商品の種類はごくわずかです。そのため、携帯型ゲーム機のモデルチェンジはかなり株価を押し上げるに違いないと僕は考えました。

任天堂は子供に夢を与える企業だと、僕は思います。

業績予想ですが、任天堂は好ましく、売上高・経常利益・純利益のどの値もけっこう好調です。

任天堂の投資額は 375000 円です。

任天堂へ一言！

任天堂は欧米でソニーに大きく遅れています。そこで、マイクロソフトと提携するのはどうでしょうか。ゲーム機を共同開発して、マイクロソフトはアメリカ人好みのソフト、任天堂は日本・アジア向けのソフトを開発し、双方の流通ネット

トワークを一つにして、ソニーに攻勢をかけるんです。任天堂はアメリカに基盤が築けますし、マイクロソフトは小型ゲーム機のノウハウを取得できるのではと思います。ちょっと大胆すぎましたか？ (石井)

工作機械

ファナック

ファナックは産業用ロボット業界のマーケットリーダーで、産業用ロボットの需要増に一番ついていけそうな会社なので、選びました。業績も好調ですし、申し分ないと思いました。

産業用ロボットは工業の発展（それに伴う経済の発展）を支えています。貢献と言う点では充分でしょう。

前述のように業績は堅調で、どの数値も上昇しています。

以上の理由で僕たちはファナックへの投資を決定しました。投資額は 375000 円です。

ファナックへ一言 はお休みです。 (福元)

About その他の企業

ソニーは第 6 の投資企業候補でしたが、「単独での利益がかなり低い」という理由ではずされました。「一業種 6 企業（一業界 4 企業）」はさすがに多すぎますから。それに他グループも投資してくるでしょうから、独自性を出そうとしたわけです。フィリップスの株があれば買っていたのですが、もちろんありませんでした。 (福元)

精密機器業界

ニコン

ニコンはデジタルカメラで業界四位ですが、かなり増産しています。僕たちは長期的にニコンはオリンパスを抜いてデジカメ三強に入り込むと予想しました。またニコンは一眼レフにも強いです。この二種類のカメラはどちらも成長期ですから、今後もかなり期待できます。他にキャノンと提携しています。

世界への社会貢献という点では精密機器業界で解説した通り、医療機器で補うことができます。

業績予想はなかなかで、売上高・経常利益・純利益のどの値も好調です。

以上の理由でニコンへの投資を決定しました。投資額は375000円です。

ニコンへの一言 僕たちは精密機器業界についてよく分かりませんが、とりあえずキャノン等と組んで精密機器業界に参入している他業種の企業を駆逐するのはいかがですか？総合力はあちらの方が上なので、相手が技術やノウハウを手に入れてしまえば不利です。大手航空三社がエア・ドゥの参入した札幌路線の価格を下げて、破綻させたようなことが精密機器業界でも起こるようになるかもしれません。その前に、弱体なうちにということで……。やはり無理ですか？素人ですから……。

(福元)

島津製作所

社員がノーベル賞を取った優良企業、島津製作所。業績も好調ですし、計測機器の最大手です。目立った点はありませんが、「ローリスク・ノーマルリターン」を期待しました。

社会貢献の点では精密機器業界の医用機器と計測機器のところを読んでもらえばけっこうです。

業績もなかなか良く、どの数値も上昇しています。

よって僕たちは島津製作所への投資を決定しました。投資額は250000円です。

島津製作所への一言 社員の一人がノーベル賞をとっても、「会社が良いから」ではなく個人の力ということになってしまう場合が多いでしょう。ですが、もし二人目の受賞者が出れば、島津製作所のイメージはかなりアップします。「技術の島津」を維持し、発展させていくためにはけっこう費用がかかりますが、リターンも大きいのではないかと思います。ですから、技術開発を積極的に行い、計測機器や医療用機器において島津ブランドを定着させることに成功すれば、かなりの業績アップが期待できます。その後にはほかの精密機器にも進出したりして、超一流企業になれるかもしれませんよ。
(福元)

About その他の企業

僕たちは当初キャノンに投資するつもりでしたが、キャノンの好調は広く知れ渡っており、多くのグループがここに投資すると見られたため、あえて選びませんでした。それでは投資ではなく投機になってしまうとおもったからです。

重機・造船業界

住友重機械工業

住友重機械工業は量産機械が売り上げの約 30%を占めており、世界の工場になりつつある中国の需要が当分好調だと思われるので、かなり期待できます。また、最近好調な船舶の割合も約 20%と高く、こちらも期待できます。（もっとも造船部門は分社化しましたが）また、BRICs などでの需要増が見込まれる建設機械も売り上げの約 20%を占めています。これらの好調な（期待できる）製品が 80%を占める状態なら、文句なしということになりました。

住友重機は環境装置の生産・販売にも熱心で、量産機械・船舶・建設機械などと合わせれば、社会貢献は最高レベルではないかと思えます。

業績もけっこう好調で売上高・経常利益・純利益のどの値もけっこう好調です。

以上の理由で住友重機への投資を決定しました。投資額は 500,000 円です。

住友重機械工業への一言 住友重機械工業には外国企業との提携をお勧めします。ヨーロッパにもアメリカにも、シーメンス、アルストム、GE などの大重機メーカーがあって、参入しづらいと思います。そこでどこか一社（僕のお勧めはシーメンスです）と組んで欧米に本格参入するのはどうですか？製品の差別化を測れば不可能ではないです。そうすれば部品は調達でき、共同設計などでコストダウンを図ることが出来ます。住友重機の技術ならある程度いけると思うのですが、チェコかハンガリー、ポーランド、スロバキアあたりに工場か造船所を建設して西欧あるいはロシア・中近東に輸出する

のがおすすめです。アメリカではメキシコで生産するのが無難でしょうか。

しかしそんなけっこう無理のある話よりも現実的な中国進出の方を選ぶと思います。中国の比較的技術水準が高く、部品が手に入り安く、人件費もかかりすぎない沿岸部の都市（僕のお勧めは杭州ですが、天津でも大連でもいいと思います。）に量産機械なり何なりの工場（あるいは造船所）をたてて中国市場で成功を企てることも、決して無理ではありません。

（福元）

川崎重工業

投資企業を決めた時、川崎重工は中国に新幹線を大量納入し、大いに潤うと予想していました。しかし原稿を書いている現時点で、どうやらフランスのアルストムの可能性が高いようです。これで川重に投資する最大の理由が消えてしまったのですが、まだあります。川重はさまざまな事業に進出しているのです。一部の失敗を補うことができます。不調の航空事業が約15%を占めているのが気になりますが、全般的には順調のようなので、まあ、大丈夫でしょう。

川崎重工もオールラウンドな重機メーカーなので、重機・造船業界のところを見てもらえれば世界への社会貢献の大半が当てはまります。

川崎重工の業績はけっこう良く、今後の予想もなかなかなので、投資することに決定しました。

投資額は375000円です。

川崎重工業への一言 川崎重工は売り上げに占める汎用機の割合が高いのですが、この市場は飽和状態に近くあまり成長できません。今後はガスタービンや機械、車両などの中国な

どで売れそうな製品に重点を置いたらいかがでしょうか。
(福元)

About その他の企業

三菱重工は防衛産業に重点を置いてあるため、世界貢献の観点から対象からはずし、三井造船や日立造船は業績予想が思わしくなかったので投資しませんでした。

化学業界

住友化学

住友化学は前述のように積極的に海外企業と提携しており、英蘭ロイヤルダッチシェルとの合同でつくった世界最大級のエチレン工場も順調のようですし、申し分ないと思いました。

世界への社会貢献となるとややパツとしませんが、技術革新に貢献していることは確かです。

業績予想もけっこうよかったので、投資しました。投資額は250000円です。
(福元)

旭化成

旭化成は日本の化学業界のナンバー2です。目立ったニュースはありませんが、業績も堅調です。

住友化学と同じ様に世界への社会貢献となるとややパツとしませんが、技術革新に貢献していることは確かです。

業績予想も好ましかったので合格としました。投資額は250000 円です。 (福元)

日立化成

日立化成はデュポンと合併会社「日立化成デュポンマイクロシステムズ」を設立しています。また、日立グループなので、ある程度需要が安定しています。

日立化成はやっていることからして上記二社より技術革新に貢献しています。

業績予想もまあまあ良かったので、投資することにしました。投資額は250000 円です。 (福元)

About その他の企業

三菱化学と三井化学は業績予想が思わしくなかったため、投資しませんでした。

鉄鋼業界

新日本製鐵

新日鉄は粗鋼生産高世界三位の大企業です。さらに一位のオランダ・LNM とアメリカで、二位のルクセンブルク・アルセロール、六位の中国・上海宝山鋼鉄の二社と中国で合併会社を展開しており、五位韓ポスコと包括提携するなど、とても積極的に海外に進出しています。国内でも住友金属工業、神戸製鋼所と包括提携しており、ライバル・JFE ホールディングスを孤立させています。これに鉄鋼景気がくれば最高益

更新ぐらい出来るのではないのでしょうか。ただ心配なのは、多額の負債を抱えている点です。景気が過熱して日銀が金利引き上げに動いた場合、不利になります。

社会貢献に関しては鉄鋼業界のところを読んでください。

業績予想もなかなか良かったので、投資することにしました。ただ、不安要因があるので、投資額は少なめの 250000 円に抑えました。
(福元)

About その他の企業

JFE や住金、神戸製鋼所は新日鉄に比べて海外進出が盛んではない上、負債も多いので、投資しませんでした

小売業界

セブン・イレブン・ジャパン

セブン・イレブンは小売業界においてダントツの安定性と成長率を誇っています。コンビニ業界でも一店あたり売上高がかなり高く、流通網も完璧です。

セブン・イレブンは地域経済の活性化に一役買っていると思います。また、「僕たちの生活を豊かにしてくれる」と思います。

セブン・イレブンは業績予想も好ましく、売上高・経常利益・純利益のどの値もけっこう好調です。したがって僕は投資を決定しました。投資額は 500000 円です。

セブン・イレブンへ一言!

セブン・イレブンは中国などにもあるそうですがそれはセブン・イレブン・ジャパンの店ではありませんね。僕は、これらをセブン・イレブン・ジャパンの店にしたらどうかと思います。そしたら資金力とノウハウを生かして画期的なことが出来るのではないかと思います。 (石井)

以上が僕たちの投資した企業です。部外者からは「地味すぎる」「知らない会社ばかり」といった批判がでましたが、僕たちは変更しませんでした。僕たちは一つとして、先生や部外者が勧めた企業の株を買っていません。すべて自分たちで、きちんと検討した上で決めました。これらが僕たちにとっての「The best companies of Japan 2005」です。

まとめ

感想

この STOCK リーグを通じて、僕たちは経済や社会について新しく知ったことがたくさんありました。この経験が将来なんらかの形で役立つといいなと思います。もちろん来年も出ます。 (福元)

この体験を通じて普段まったく見ないような会社情報や業界地図、企業のホームページをいっぱい見ました。そして普段全く興味を持っていないようなことを何時間も考え、検討しました。これはきっといい経験になったのだと思います。 (石井)

銘柄を決めるのは退屈だったけど、株が上がったときはホントにうれしかったです。僕は経済とかよくわかんないけど、少なくとも普通の中学生より経済通になったと思います。賞金が来るといいな。

(五十嵐)

今後に向けて

僕たちは来年も出る予定です。まだ中学一年生ですから、チャンスはあと9回もあります。それに向けて、今後も経済についての知識と理解を深めていこうと思います。